磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市 15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷人 遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

迎歡稿投

養老園愈々具体化さる

總工費六百萬圓の予定

平市の養老園建設について既報の通り縣當局からの通達により市當局では計畫の大要を作製し二十二日午前十時より縣民生部長室で開かれた打合せ會に千葉社會課長臨席し養老園建設に關する計畫書を縣を通じ厚生省に提出するため計畫書作製について詳細な指示を受け二十二日夜歸平した、縣の指示に依れば養老園の敷地は七百坪乃至千坪とし建物は三百五十坪、收容人員は五十名程度とし建設費は六百萬圓を限度とし國庫負擔三百萬圓、縣補助百五十萬圓、地元負擔百五十萬圓と豫定され、國庫補助の三百萬圓は既に厚生省の諒解濟みであり縣補助の百五十萬圓は二十六年度縣豫算に計上する事も内定している問題は敷地の選定と地元負擔金であるがこの養老園は單なる平市の養老園として建設するものではなく濱三郡の養老園として施設されるものであるのでこの問題の解決も左程困難ではないと市當局では見ている尚この計畫書は本月末日迄に縣に提出する事となつた

日鑛の闘争委 實力行使の態勢

連盟側の交渉回避で

二十二日午後一時より日鑛常磐支部では勞働會館に第三會常任斗爭委員會を開催當日連盟側と開く豫定であつた、團体交渉は連盟側の回避によつて流れた經過を討議した、各利益關係其の他諸條件の不一致により組合側との統一交渉に應じられないと言ふ連盟側とあくまで統一交渉によつて問題を一氣に解決しようとする組合側とは意見の對立を來たし、遂に組合側は常任斗爭委員會に連盟事務局の青木勞働部長の來場を求め强硬に二十四日午後一時より例え徹夜をも厭はず團体交渉に應じられたき旨を申入れた、青木部長は事態の緊迫して居るのを察し最善を盡して團交を持つ樣努力する事を約したこゝに到り日鑛常任斗爭委員會は新事態に直面する新たなる決意を持つて、新段階即ち實力行使の準備態勢に入つた、なお去る二十一日日鑛傘下の最有力組合大日本勿來鑛は大會により正式にストをも含む斗爭方針を決定して直に準備狀態に入る事を決議した

平商工會議所新制定の定款（4）

第二節 議員總會

第二十三條 議員總會は會員の中から選擧された三十名の議員を以て組織する

前項の選擧に關し必要な事項は議員總會に於て別に定める

第二十四條 左に掲げる事項は議員總會の議決を經なければならない

一、會員總會の權限に屬する事項で議員總會がその委任を受けた事項

二、役員會より提案を受けた事項

三、會員總會に提案すべき事項

四、その他本商工會議所運營上に特に重要な事項

第二十五條 議員總會は會頭が隨時招集する

議員が總議員の五分の一以上の同意を得て會議の目的たる事項及び招集の理由を記載した書面を會頭に提出して議員總會の招集を請求したときは會頭はその請求のあつた日から二十日以内に議員總會を招集しなければならない

第二十六條 議員の任期は三年とする

補決議員の任期は前任期間とする

第二十七條 議員總會の議事及び議事錄については第二十條及び第二十二條の規定を準用する

第四章 役員

第二十八條 本商工會議所に左の役員をおく

會頭 一名　副會頭 二名

理事 八名（内一名を專務理事とする）

監事 二名

會頭、副會頭及び理事をもつて民法上の理事とする

第二十九條 役員は議員總會において議員の中から選擧する

專務理事は前項の規定に拘はらず會頭が議員總會の承認を得て任免する事が出來る

第三十條 會頭は本商工會議所を代表しその業務を總べる事が出來る

理事は會頭及び副會頭を補佐して商工會議所の業務を掌理し會頭に事故ある時はその職務を代理し會頭が缺員の時はその職務を行う

監事は會頭及び副會頭に事故ある時は會頭の職務を代理し會頭及び副會頭が缺員の時は會頭の職務を行う

監事は商工會議所の業務を監査する

監事は會員總會議員總會及び役員會に出席し意見を述べる事が出來る

山田の自由勞組險惡

機動班出動萬一を警戒

去る十二月廿七日山田村元自由勞組長林三郎（三七）は山田村河川工事現場に於て午後二時半頃作業を止め同現場を監督して居た植田土木監督署員大平正さんに午後三時半まで作業をし八時間働いた事を認めよと同現場に働いて居た五十一名と共に迫り吊し上げ行爲をした爲大平さんは止むを得ず認めた、平職安所では不正勞務者遵側適用により二十三日午前十時就勞拒否を通告した、この通告によつて勞組側は險惡な空氣を胎むものと見られ萬一の事態を危惧して國警警備隊機動班も出動し、また縣勞働課西卷事務官平職安所根本勞働課長も現地に出張して自由勞組と種々の談合をする事になつた

養蠶の技術研究會

廿四日農業會館で

二十四日午前十時より農業會館に於て縣蠶糸課長小林氏縣蠶糸課紺野參事の來平の下に養蠶技術の徹底を期して郡全体の各町村の技術關係者の參集を求め技術員研究會を開く

三大炭鑛の共闘代表

中央共闘會議を報告

常磐古河隅田川の三大炭鑛共斗會議は齋藤副支部長、（常磐）本間副支部長（古河）松本支部長（隅田川）の各代表が東京の中央共斗會議、（三井、三菱、井華北炭の四社）に出席二十一日歸平したが廿三日午後一時より隅田川勞組本部で中央會議の經過の報告及今後の具体的な方針について協議した

石城地區

緑の山野と治山治水

事業實施 造林協議會を聞く

戰時中の山林亂伐をした結果年々全國的に洪水の災害に惱みその被害甚大でその復舊に莫大な經費を要しつゝあるがこれが百年の對策は造林する事にあるので所謂治山治水は國策の一つとされている、石城地方事務所ではこの國策の線に沿つて造林計畫の實施に不斷の努力を續けているが地方事務所林業課及管下町村森林組合、樹苗組合が主体となつて廿四日午後一時より地方事務所會議室に於て縣林業課長柳内元一氏を招き二十六年度造林事業並に樹苗計畫を立案し國土保全と開拓の實態を調査する一面洪水等の天災を防止すると共に綠の美しい山野を造り國土に風致を添える目的で造林協議會を催す事となつた、なお當日柳内縣造林課長から造林臨時處置法の解説も行はれる豫定である

望

レール泥勿來署で擧ぐ

勿來町酒井字高畔二十採炭夫野澤光（三四）は去る十三日同町酒井高畔三三東採炭株式會社鑛業所＝社長松本榮さんの坑口附近に保管して置いた採炭用トロッコの車輪三個、レール長さ約五米重さ三十貫を四本計五千圓相當を盗み二十二日勿來署に檢擧された

去る十三日本欄で遺憾の意を表した通り本社の編集陣が大きく搖れた結果心ならずも思切つて紙面を縮刷し文字通り孤軍奮闘辛じて本紙を續刊して參つた次第であるが其間やゝもすれば從來新聞人として最も愼むべき讀者に不忠實な行爲のあつた暗雲を一掃し再出發の覺悟で編集陣を建直すべく努力し最近新進の記者の入社を見るに至り紙面を刷新すると共に日ならずして現在の九切判にまで擴張し得た事は讀者各位の御支援の賜と深く感謝する次第である

×

申すまでもなく新聞は社會の公器であると同体に讀者のものでなければならない斷じて私するが如き事があつてはならない從つて新聞人は飽くまで讀者に忠實でなければならない、これは半生を新聞人として送つた筆者が夢寢にも忘れない信條であつて今後共この信念によつて精進する決意を新たにした事を述べ一層の御支援と御鞭撻を再び希う次第である（山野邊正善）

精肉
三三屋
平市田町
電三三番

カメラと材料
田中寫眞機店
平市三丁目大通り
電話五七六番一〇三九番

新 1月29日 2月 5日
舊 12月22日 12月29日
値上り前のお買德は只今です!!
舊歳末大賣出し
壽百貨店
平驛前電656番

平市四丁目（平郵便本局裏）
木村眼科醫院
木村正道
電三一六番

昭和25年7月6日
（二）第三種郵便物認可 昭和26年（1951）
磐城毎日新聞
1月24日（水曜日）第203號

第二中校庭の擴張案

小名濱町營グランド兼用

小名濱町立第二中學校建築委員會は二十日午後一時から町長室で開會した、協議案は第二中の校舎二棟は一棟毎に貳米の段階のある敷地である爲めに東方隅は小山の如き殘土が放置される事になつて居るので、其殘土を取り拂ふ事は、校庭を擴張し、運動場の利用價値を增大し將來町營綜合グランド迄に推進せしむる爲めにも是れを整地する必要があるものとして委員會はあくまでその方針で進む事に決定した、その工費の捻出について長瀨助役の出席を求め强硬な態度で工事の續行を要望し若し財政に餘裕がないなれば過年度分の未納町税に對して町議が、吏員と同道して督促に當るも辭さぬとの委員會の意氣に動かされ、長瀨助役は土木課長に切りつめた設計に依り工費の算定をせしめた處百十五萬圓内外で完成疑ひなしとの事で二十五年度及二十六年度の二ケ年計畫を以て委員會の決定通り施行するに決し水野町長の歸廳を待ち直ちに工を進むる事に決定した

小名濱第二中 完成期を嚴守

請負人委員會で言明

小名濱町立第二中建設工事の工程が餘りに進捗しないので十九日開催した教育委員會の席上請負人作山康太郎氏を招き約束の期日三月二十五日迄に完成し得るかとの質問に對し作山氏は材料が近年稀なる大雪の爲めに搬出が非常に困難であるので磐崎部落の吹谷で千石の立木を買收し伐採に着手したから材料は充分である既に現場には一棟分はそろつて居り着手すれば晝夜兼行で決行し、期日迄には斷じて完成せしむ自信があると言明したので委員側もこれを諒とし一同工事現場を視察し工事を督勵した

平市小中校の研究會

二十二日午後一時三十分より平第五小學校に於いて市内小中學校研究協議會を開き義務教育兒童調査及二月中の行事について打合を行なつた

小名濱の郵政局

小名濱郵政局では町内中町境渚新潟線の縣道筋に四百五十坪の敷地を買收し廳舍を新築する事となつたが十九日午前九時から水野町長代理（馬上土木課長）村上前總務委員長外十數名の有志參列の上起工式を行つた、工事請負者は野組で直ちに着工する事となつたが工費四百十三萬八千圓八月末日までに竣工の豫定

縣の衛生會議

全縣下衛生統計打合會議は二十日から三日間福島市縣廳内で開かれる、衛生行政の基礎統計を主題に橋縣衛生部長等が出席し二十六年度の衛生行政に關する協議會を開催され、平保健所から相川統計技師が出席した

無檢査木炭の取締り

地方事務所乘り出す

惡質木炭及無檢査物も時折見られる現狀なので石城地方事務所林務課が主体となつて檢査指導班を組織し木炭並に林産物の品質を改良し無檢査物の徹底的絶無を期する事となつた、期間は二十日より來月十六日まで各町村の林務課駐在員の援助を得て取締りを開始した

小名濱の漁夫殺し

容疑者三名を檢擧

昨報＝二十日夜小名濱町寶來丸乘込み漁夫林伊佐夫君（二〇）を路上で毆り殺した容疑者として同町船引場漁夫松原喜一（二〇）同町竹町左官草野幹夫（二二）江名町下神白土工野崎明（二〇）の三名を二十一日小名濱町署で逮捕調べた結果犯行を自供したので二十二日暴行傷害致死の疑いで送檢した

物騒な小名濱

夜半大刀振る大男

小名濱町は物騒な事件が引續き突發するので三萬町民は戰々競々としている折柄去る十九日夜半六尺豊かの大男が刄渡り二尺三寸の大刀を振りかざし築港魚市場前で高木嘉一郎さん所有船第一嘉寶丸船長吉田一（二九）さんに例の大刀を振つて左手薬指に切りつけ長四センチ全治一週間の傷を加へた町署の加藤刑事部長が逮捕して調べて見ると、香川縣三豊郡伊吹村生れ漁船大成丸の漁夫眞鍋照美（二二）で身長五尺八寸二分と云ふ大男眞鍋は十九日夜半紅灯の色を彷徨中不良に出會い撲られたのが癪で酒店で燒酎二杯をあをり、大成丸に歸つて自分の寢室から件の大刀を持ち出し不良退治を目指して魚市場迄來ると吉田さんに出會い不良居たなと許り切りつけたのがこの騒ぎと判明、遂に銃砲刀劍類取締令並に傷害罪で二十三日送檢となつた

小名濱通信

去十六日檢察廳から警察電話で十七日午前九時までに出頭の通知があつた、十七日は町議會のある書入日なるが爲めに町警察の渡部警部補さんを煩して十八日に變更方を申込んだ處、宜しいと云ふので、十八日平檢察廳に出頭した、窓口で氏名を述べ警察電話での呼び出しがあつたから松本檢事さんに取り次いで貰ひたいと小い窓口から中を覗くと女事務員らしいものが、直ちに取次いだと見えるコチラにと案内を受け、調査室に松本檢事さんと面接した、松本さんは私には緣固が深い詐欺未遂被告事件の係り立會檢事であり、リコール問題から派生した告訴したりされたりしたる時の主任檢事であつたなどで、非常に顔なじみとなつて居る、こんどの出頭命令は、農地委員長時代、町有財産處分委員長時代に何か不正行爲があつたかの如く動勞タイムス紙上で無根の記事をヤコトしやかに報導したりさせたりした、遠藤徹、飯塚新四郎外數名を名譽き損で告訴した事件が昭和二十三年十一月上旬に起つた問題であつた事と判つた、松本檢事さんは一見鬼檢事とも見らるゝ面影がないでもないが、被疑者に對する言葉遣ひが、實に民主的で粗暴な言辭や、威壓的の行動は絶体にない、謹嚴であり親切であり喚問も溫厚である、其態度が非智識階級者側は別として智識階級からは敬慕さるゝ溫容さを示して居る、其檢事さんが私も告訴事件をどうするかとの質問である、私は二三の人物を除いては取り下げてもよろしい、事件は總て古い問題に屬して居るので最早憎惡の觀念も薄らいだ觀があると答ふると松本檢事は當惑らしく君に關する告訴事件は、君の出して居る告訴事件と共に取り下げる事を條件として、萬事が解決して居ると當惑そうに話し込まれた場合執拗に主張する勇氣は保持出來ず遂に松本檢事さんの慈哀を持つ言葉で一切を取り下ぐる事を決意した、玆六十年間の公生涯に於て被疑者として昔の檢事局に召喚された事數知れずで、其度毎に檢事さんに會つて居るが、松本檢事さんの樣に溫厚な態度を以て接する檢察官は稀れである昭和七年の刑事事件に關與した山本威棲雄檢事さんがあつたが學校卒業後赴任したホヤ〳〵時代であつた其態度がいんぎんで被告の私に對して專務さん當時小名濱商事株式會社の專務取締であつたと呼んで人なつこい言語を以ていさゝかも當時の檢事らしき權柄つくの處がなかつた事を今以て記憶して居るが、其山本檢事さんが二十年後の今日再來したかと思ふ程權柄臭のない松本檢事さんに出會つた事は奇とするのに充分であると思ふが爲めに古い追憶から山本檢事を偲ぶと共に松本檢事さんの人格に敬服した一人である

小名濱支局小野支局長

偉大な母 (1)

一、光輝ある一族

ダイナマイトの發明から莫大な收入を得たスエーデンの科學者、ノーベルはその金を有益なことに使いたいと思い、化學、文學、平和運動に大きな貢献をした人々に對し、年々多額の賞金を出すようにという遺言を實地に活用しているのが皆さんも知つて居るノーベル賞です、この賞を與えられることは、いわば世界的な學者、世界的な人物という折り紙をつけられることで、最高の名譽とされています、ノーベル賞が創設されてからもう數十年近くにもなります、その間にこの名譽を得た人々は數百名というほど有りますが、しかしその中で同一人が二回受賞した例は一度しか有りません

千九百三年パリー大學の教授ピエーリーキューリーとその夫人マリーが、ラジユム發見の偉業を立ててノーベル物理賞を受けられました、それから八年をへてラジユム抽出に成功したマリー夫人がこんどは單獨でノーベル化學賞を受けました

これがその唯一の例です、夫妻が協力して大きな研究を完成し、その結果ノーベル賞を授けられた例は二回有ります、最初の例は今のべたとおり千九百三年のキューリー夫妻の受賞です、次ぎの例はそれから約三十年後千九百三十五年のジオリオ夫妻の受賞です、ところでジオリオの妻イレーニユはキューリーの長女ですから結局キューリー一族に限られるわけですかように輝かしい一族はほかに有りません、この名譽ある夫妻この名譽ある母子はどういう人物でしようか

眞理を愛し、人類の進歩を望んでやまないわれはぜひとも彼らの歩んだ跡をたずねて見る必要が有ります

二、ワルリーからパリへ

三、新夫素の探究

二と三はあとでブリントする事にして四にとびます

四、この母、この娘

千九百三年、キューリー夫妻がノーベル賞を與えられた時、ある若い新聞記者が夫妻を訪問しました

（續く）

くすり
今日も元気で
電話○五四
関内薬局

濃厚
スのモト（瓶入）
割ばし（各種）
佐々木商店
平市鍛冶町 電（呼）五〇三番

大衆食堂
あつい鍋焼うどん
特製支那そば
○さかえ
◎出前迅速
電話九八八番
平駅前東角

1951年の新春に贈る
第1回100萬圓寶くじ
今年の幸運は先づ寶くじの初賣り
100萬圓 14本 10萬圓 70本
以下 八等迄 1枚 30圓
抽せん 1月31日 賣出中
日本勸業銀行平支店